

日本台湾学会

第 18 回学術大会プログラム

2016年5月21日（土） 於：宇都宮大学峰キャンパス
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

共催：(公財) 交流協会

受付開始： 9：30- (場所：4号館 B棟 1F)
 分科会第Ⅰ部： 10：00-11：50 (場所：4号館 A棟・B棟)
 分科会第Ⅱ部： 13：10-15：00 (場所：4号館 A棟・B棟)
 記念講演： 15：10-17：20 (場所：5号館 B棟 5B11 教室)
 「Only One 戦略により、自転車新文化を推進する」
 巨大機械工業(股) (ジャイアント) 董事長 劉 金標
 総会： 17：30-18：00 (場所：5号館 B棟 5B11 教室)
 懇親会： 18：15-20：15 (場所：峰が丘講堂)

		第Ⅰ部					第Ⅱ部					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
分 科 会	企画	企画	企画	企画	自由論題	自由論題	自由論題	企画	企画	企画	自由論題	自由論題
	社会学・人類学	人類学	政治学	文学	社会学・人類学	歴史学	社会学・人類学	文学	経済学・経営学	政治学・環境	歴史学	

*使用言語：原則として日本語。

***** 《第Ⅰ部 10:00-11:50》 *****

◇第1分科会 (社会学・人類学) 2セッション企画 (第7分科会に続く)

「台湾社会における地域共同性の創造と想像—社區・地方文化・観光産業の発展の中で」

◎企画責任者：上水流久彦 (県立広島大学)

◎座長：上水流久彦 (県立広島大学)

◎報告：

・田本はる菜 (筑波大学・院生)

「原住民族の文化復興／地域振興にみる『地域的まとまり』のあり方—南投県セデックの文化活動を中心に—」

・前野清太朗 (東京大学・院生)

「『いなか』と制度的『むら』の間に揺れる地域社会—ポスト 2000 年代の台湾南部農村の事例にみる」

◎コメンテーター：西村一之 (日本女子大学)、宮岡真央子 (福岡大学)

◇第2分科会（人類学） 1セッション企画

「台湾漢人の民間信仰から見る歴史の記憶・想像・創造」

◎企画責任者：三尾裕子（慶應義塾大学）

◎座長：三尾裕子（慶應義塾大学）

◎報告

・林美容（慈済大学）・劉智豪（中国社会科学院）

「從田中綱常到田中將軍の人神蛻變(田中綱常から田中將軍への変質)」

・三尾裕子（慶應義塾大学）

「植民地経験、敗戦経験を『飼いなす』—台湾・東港の民間信仰を事例に」

◎コメンテーター：渡邊欣雄（國學院大學）

◇第3分科会（政治学） 1セッション企画

「馬英九政権の8年—ナショナリズムと日台関係の視点から」

◎企画責任者：小笠原欣幸（東京外国語大学）

◎座長：小笠原欣幸（東京外国語大学）

◎報告

・若林正丈（早稲田大学）

「中華民國台湾化と馬英九政権—辺境ダイナミズムと国民国家再編—」

・松田康博（東京大学）

「馬英九政権期の日台関係」

◎コメンテーター：林泉忠（中央研究院）、柿澤未知（交流協会）

◇第4分科会（文学） 自由論題

◎座長：和泉司（豊橋技術科学大学）

◎報告

・張家禎（大阪大学・院）

「統治前期の領台戦争と台湾漢民族像—森鷗外、久留島武彦を中心に」

・簡中昊（総合研究大学院大学博士）

「戦時下の文学における台湾原住民像—真杉静枝の『原住民もの』を例に一」

◎コメンテーター：河原功（台湾協会）、和泉司（豊橋技術科学大学）

◇第5分科会（社会学・人類学） 自由論題

◎座長：星名宏修（一橋大学）

◎報告

・酒井亨（金沢学院大学）

「台湾ホーロー語運動の制度に対するインパクトおよび限界」

・沼崎一郎（東北大学）

「台湾映画『KANO 1931 海の向こうの甲子園』をどう見るか——人類学的ポストインペリアル批評の試み」

◎コメンテーター：林初梅（大阪大学）、三澤真美恵（日本大学）

◇第6分科会（歴史学） 自由論題

◎座長：富田哲（淡江大學）

◎報告

・松葉隼（一橋大学・院生）

「植民地台湾における交通近代化と小規模港湾」

・中山大将（京都大学）

「亜熱帯植民地台湾と亜寒帯植民地樺太の農業試験研究機関：境界地域史の観点からの比較」

◎コメンテーター：谷ヶ城秀吉（専修大学）、堀内義隆（三重大学）

*****《第Ⅱ部 13:10-15:00》*****

◇第7分科会（社会学・人類学） 2セッション企画（第1分科会より続く）

「台湾社会における地域共同性の創造と想像—社區・地方文化・観光産業の発展の中で」

◎企画責任者：上水流久彦（県立広島大学）

◎座長：上水流久彦（県立広島大学）

◎報告：

・鈴木洋平（東京都市大学）

「個人と地域のあいだの問題解決—佐渡市 T 集落の墓地災害処理を事例として—」

・佐々木孝子（京都大学）

「台湾漢人・原住民族における社区营造への関わりに関する比較考察」

◎コメンテーター：西村一之（日本女子大学）、宮岡真央子（福岡大学）

◇第8分科会（文学） 1セッション企画

「1990年代台湾文化を再考する：雑誌『島嶼邊縁』をてがかりにして」

◎企画責任者：三木直大（広島大学）

◎座長：三木直大（広島大学）

◎報告

・三木直大（広島大学）

「1990年代台湾文化再編成における雑誌『島嶼邊縁』の位置」

・洪 凌（世新大学）

「雑誌『島嶼邊縁』が目指したもの—ジェンダー・マイノリティ・ネイションをめぐる—」

◎コメンテーター：山口守（日本大学）、垂水千恵（横浜国立大学）

◇第9分科会（経済学・経営学） 1セッション企画

「台湾・自転車製造王国への軌跡」

◎企画責任者：朝元照雄（九州産業大学）

◎座長：赤羽淳（横浜市立大学）

◎報告

・朝元照雄（九州産業大学）

「ジャイアント（巨大機械工業）の“勝利の方程式”：開発プロジェクト・マッピング法によるユーザー・イノベーション戦略—」

・張書文（台湾・東海大学）

「ODMに基づく台湾自転車リーディングカンパニーの能力構築」

◎コメンテーター：駒形哲哉（慶応義塾大学）、井上隆一郎（桜美林大学）

◇第10分科会（政治学・環境） 自由論題

◎座長：林成蔚（常葉大学）

◎報告

・寺尾忠能（アジア経済研究所）

「台湾における初期環境政策の形成過程—1974年水污染防治法と1975年大気汚染防制法を中心に—」

・鈴木真奈美（明治大学・院生）

「第四原発の建設はなぜ凍結されたのか—異議申し立て運動の形成と展開に着目して—」

◎コメンテーター：岸川毅（上智大学）、松本充豊（京都女子大学）

◇第11分科会（歴史学） 自由論題

◎座長：春山明哲（早稲田大学）

◎報告

・王麒銘（慶應義塾大学・院生）

「台湾総督府における日中親善事業—大正期から日中戦争前を中心に—」

◎コメンテーター：藤波潔（沖縄国際大学）

2 プログラム

*****《記念講演 15:10-17:20》*****

講 演

巨大機械工業股份有限公司（ジャイアント）董事長 劉 金 標

「Only One 戦略により、自転車新文化を推進する」

* 中国語による講演、日本語への通訳あり。

(会場：5号館B棟 5B11教室)

司 会	川上 桃子（アジア経済研究所）
講 師 紹 介	野嶋 剛（ジャーナリスト）
コ メ ン ト	佐藤 幸人（アジア経済研究所）